

自然に親しみながら、食の喜びを体験

グリム保育園でジャガイモの収穫体験を行いました。園児たちは自分たちが大切に育てたジャガイモを、額に汗を流しながら一生懸命に収穫しました。大きなジャガイモが次から次へと現れると、園児たちからは大きな歓声が上がりました。

次の日、収穫したジャガイモを園庭でバーベキュー。野沢園長は、園児が美味しそうにほおばる姿を見ながら、「子供たちは収穫の苦労と喜びを体験できました。食べる幸せを味わい、心の成長にもつながるでしょう。」と話してくれました。



豊かな心を育てます。『人権の花』

児童が協力しながら花を育てることによって、やさしい思いやりの心を体得することや人権思想を育み情操をより豊かなものにするを目的に人権の花運動を実施しました。

今年度は栃木県人権擁護委員連合会より祇園小学校、栃木人権擁護委員協議会より国分寺西小学校、下野市人権擁護委員より石橋小学校にマリーゴールドの苗やコスモスの種が贈呈されました。

人権擁護委員より「花を育てると同時に思いやりの心を育てて欲しい」とあいさつがあり、花の苗と種を受け取った児童からは「大事に育てます」とのお礼の言葉と「世界にひとつだけの花」の合唱が披露されました。一人ひとりの思いやりが明るく差別のない社会を築きます。

人権について家庭の中でも話し合ってみましょう。



下野市農業青色申告会を設立

「下野市農業青色申告会」の設立総会が、6月23日、南河内公民館において、旧町代表者で組織する農業青色申告会設立準備委員代表参加のもとに開催されました。3町合併への対応とともに、「組織活動の重要な役割である税金対策の活動方向の推進 記帳による農業経営実態及び国の今後の農政施策活動の展開に対する対応 青色申告を通じて適正な特典を利用しての節税」を図っていくには、青色申告の普及・促進が急務となっていることなどから、このたびの会の設立にいたしました。

下野市農業青色申告会の規約・目的として「青色申告を基礎とした農業簿記の記帳指導及び調査・研究を行なうと共に、会員相互の連絡協調を図り、適切な農業所得税申告を通じて、農業経営の発展に寄与すること」としました。また、具体的な事業については、(1)税務・経理等に関する実務研究会、学習会、情報の意見交換等、(2)関係行政並びに関係団体との連絡調整を図る、(3)会員に必要な資料の斡旋及び情報提供等を行う、(4)その他目的達成に必要な事業を行う、などを確認しました。



また総会では、下野市・農業委員会及びJA各支店から、下野市農業青色申告会設立にあたり、行財政改革の中で標準課税の廃止と、収支・青色申告への移行が強く求められており、更に新基本法の担い手農家への施策集中と、現在検討されている経営全体を捉えた経営安定対策における簿記記帳の重要性などが増加したことを説明され、「下野市農業青色申告会」のまますの発展を祈念します」とのご挨拶がありました。